

平成22年2月期 第1四半期決算短信

平成21年7月15日

上場会社名 株式会社ダイセキ
 コード番号 9793 URL <http://www.daiseki.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長
 四半期報告書提出予定日 平成21年7月15日
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 東 名

(氏名) 伊藤 博之
 (氏名) 柱 秀貴

TEL 052-611-6322

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年2月期第1四半期の連結業績(平成21年3月1日～平成21年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年2月期第1四半期	6,655	—	1,001	—	1,033	—	427	—
21年2月期第1四半期	10,588	31.1	2,689	43.4	2,744	47.7	1,483	43.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年2月期第1四半期	9.49	—
21年2月期第1四半期	32.93	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年2月期第1四半期	49,498	42,054	80.8	888.01
21年2月期	51,158	42,816	78.1	887.52

(参考) 自己資本 22年2月期第1四半期 39,999百万円 21年2月期 39,978百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年2月期	—	8.50	—	10.50	19.00
22年2月期	—				
22年2月期 (予想)		9.50	—	9.50	19.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年2月期の連結業績予想(平成21年3月1日～平成22年2月28日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 連結累計期間	14,900	—	2,550	—	2,650	—	1,300	—	28.86
通期	31,000	△16.7	5,900	△21.7	6,100	△20.5	3,100	△22.9	68.82

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年2月期第1四半期 45,124,954株 21年2月期 45,124,954株

② 期末自己株式数 22年2月期第1四半期 81,033株 21年2月期 80,585株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年2月期第1四半期 45,044,094株 21年2月期第1四半期 45,049,490株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。なお、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成20年8月7日 内閣府令第50号)附則第7条第1項第5号のただし書きにより、改正後の四半期連結財務諸表規則を早期に適用しております。

2. 業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と大きく異なる結果となる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、昨年秋以降の百年に一度と言われる世界規模の景気後退を受け、厳しい状況の中で推移いたしました。

当社グループの主力事業である産業廃棄物処理・リサイクル事業においても、国内製造業の生産状況は低迷し、既存顧客からの受託量も大幅に減少いたしました。このため同事業を主に行う当社は大幅な減収減益となりました。

また昨年後半に鉛価格が大幅に低下した鉛リサイクル事業においては、本年に入り鉛の国際相場が回復し、その影響を受け再生鉛の販売価格が上昇しつつあります。このため同事業を主力事業とする株式会社ダイセキMCRにおいては、業績が上昇傾向となってきました。

土壌汚染の調査・分析・処理事業においては、昨年来の不動産・建設業の不振の影響が大きく、計画された土壌汚染処理工事も一時中止となるなど、厳しい外部環境となりました。このため、同事業を主力とする株式会社ダイセキ環境ソリューションは、大幅な減収減益となりました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間の業績は、売上高6,655百万円、経常利益1,033百万円、四半期純利益427百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間における総資産は、前連結会計年度末に比べ1,660百万円減少し49,498百万円となりました。その主な要因は、投資有価証券が1,162百万円増加し、現金及び預金が2,421百万円減少したことによります。

純資産は42,054百万円と前連結会計年度末に比べ762百万円減少いたしました。これは主に少数株主持分が783百万円減少したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、営業活動による資金の獲得507百万円、投資活動による資金の支出2,440百万円、財務活動による資金の支出495百万円により、前連結会計年度末に比べ2,428百万円減少し、当第1四半期連結会計期間末には15,998百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結会計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、主に法人税等の支払額1,544百万円があったものの、税金等調整前四半期純利益847百万円、売上債権の減少額493百万円、減価償却費480百万円等により、総額では507百万円の収入となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結会計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、主に投資有価証券の取得による支出1,058百万円、子会社株式の取得による支出726百万円、有形固定資産の取得による支出647百万円等により、総額では2,440百万円の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結会計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、主に配当金の支払額422百万円等により、総額では495百万円の支出となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年4月14日に公表しました連結業績予想から修正はおこなっておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日公表分)が適用されたことに伴い、原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。また、本会計基準を期首たな卸資産の評価から適用したとみなし、期首残高に含まれる変更差額を「たな卸資産評価損」として特別損失に178百万円計上しております。

この結果、従来の方法によった場合に比べて、営業利益及び経常利益は、それぞれ104百万円増加し、税金等調整前四半期純利益は73百万円減少しております。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より、平成20年度の法人税法改正による法定耐用年数の変更を契機として、経済的使用可能予測期間を見直した結果、構築物及び機械装置について耐用年数を変更しております。

これにより、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ56百万円減少しております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年5月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,018	18,440
受取手形及び売掛金	5,256	5,743
たな卸資産	1,371	1,680
繰延税金資産	210	222
その他	482	511
貸倒引当金	△12	△13
流動資産合計	23,326	26,584
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,886	4,804
機械装置及び運搬具(純額)	3,089	3,170
土地	9,306	8,905
建設仮勘定	137	406
その他(純額)	148	165
有形固定資産合計	17,567	17,451
無形固定資産		
のれん	1,475	1,097
その他	295	298
無形固定資産合計	1,771	1,395
投資その他の資産		
投資有価証券	3,747	2,585
繰延税金資産	552	585
その他	2,564	2,587
貸倒引当金	△31	△31
投資その他の資産合計	6,832	5,726
固定資産合計	26,171	24,573
資産合計	49,498	51,158

(単位:百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年5月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,645	1,870
短期借入金	1,256	1,223
未払法人税等	521	1,577
賞与引当金	31	210
その他	2,622	2,010
流動負債合計	6,077	6,893
固定負債		
長期借入金	529	602
退職給付引当金	628	612
役員退職慰労引当金	201	228
その他	6	5
固定負債合計	1,366	1,448
負債合計	7,443	8,341
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,382	6,382
資本剰余金	7,051	7,051
利益剰余金	26,581	26,626
自己株式	△123	△122
株主資本合計	39,891	39,937
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	108	40
評価・換算差額等合計	108	40
少数株主持分	2,055	2,838
純資産合計	42,054	42,816
負債純資産合計	49,498	51,158

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年5月31日)
売上高	6,655
売上原価	4,662
売上総利益	1,993
販売費及び一般管理費	991
営業利益	1,001
営業外収益	
受取利息	29
受取配当金	0
その他	5
営業外収益合計	35
営業外費用	
支払利息	3
その他	0
営業外費用合計	3
経常利益	1,033
特別利益	
固定資産売却益	1
貸倒引当金戻入額	1
特別利益合計	3
特別損失	
固定資産除却損	1
投資有価証券評価損	9
たな卸資産評価損	178
特別損失合計	189
税金等調整前四半期純利益	847
法人税、住民税及び事業税	514
法人税等調整額	△144
法人税等合計	369
少数株主利益	50
四半期純利益	427

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第1四半期連結累計期間
(自 平成21年3月1日
至 平成21年5月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	847
減価償却費	480
のれん償却額	48
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△179
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	37
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△27
受取利息及び受取配当金	△30
支払利息	3
固定資産売却損益 (△は益)	△1
固定資産除却損	1
投資有価証券評価損益 (△は益)	9
売上債権の増減額 (△は増加)	493
たな卸資産の増減額 (△は増加)	308
仕入債務の増減額 (△は減少)	△277
未払金の増減額 (△は減少)	336
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△102
その他	92
小計	2,040
利息及び配当金の受取額	14
利息の支払額	△3
法人税等の支払額	△1,544
営業活動によるキャッシュ・フロー	507
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△9
定期預金の払戻による収入	2
投資有価証券の取得による支出	△1,058
保険積立金の積立による支出	△5
保険積立金の解約による収入	0
有形固定資産の取得による支出	△647
有形固定資産の売却による収入	3
無形固定資産の取得による支出	△1
子会社株式の取得による支出	△726
その他	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,440
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	50
長期借入金の返済による支出	△89
配当金の支払額	△422
少数株主への配当金の支払額	△32
自己株式の取得による支出	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△495
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,428
現金及び現金同等物の期首残高	18,427
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,998

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

環境部門の売上高及び営業利益は、全セグメントの売上高の合計及び営業利益の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

[所在地別セグメント情報]

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

海外売上高がないため該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(要約) 四半期連結損益計算書

前第1四半期連結累計期間(平成20年3月1日～5月31日)

科目	前年同四半期 (平成21年2月期 第1四半期)
	金額(百万円)
I 売上高	10,588
II 売上原価	6,859
売上総利益	3,728
III 販売費及び一般管理費	1,038
営業利益	2,689
IV 営業外収益	70
V 営業外費用	16
経常利益	2,744
VI 特別利益	2
VII 特別損失	9
税金等調整前四半期純利益	2,737
税金費用	1,055
少数株主利益	198
四半期純利益	1,483

6. その他の情報

該当事項はありません。